



今年の職員チームによる研究は、

ケースB「手から学ぶこと」として、手は第二の脳であることから、手指を使った遊びを0歳児から5歳児まで展開しました。乳児期の手指先を使った遊びが生活につながることで、何回も繰り返すことで幼児期の土台になっていくこと。手づかみ食べからスプーンの持ち方、そこから箸の使い方、鉛筆の持ち方に繋がっていることを学びました。

ケースSは「食育」として、昨年から継続したテーマでした。食材の展示、野菜の栽培、野菜スタンプ、味比べを行いました。堅いパスタが茹でると軟らかくおいしいパスタに変わるのや、砂糖水やお酢の味比べでは3歳から5歳まで同じものを試したのですが、やはり年齢が上がるほど味の違いを利き分けていました。食は私たちになくてはならない大切な物、食に対して興味を持ち苦手な食材にもチャレンジしてほしいと思います。

ケースMの「散歩マップ実践編」は3年継続で取り組

みました。今年の夏は暑くて長かったので、ようやく涼しくなった秋から乳児もお散歩に繰り出しました。お散歩バックを作って、木の実やはっぱを持ちかえってクラフトしたり、幼児では散歩マップや散歩ファイルに園児自らが情報を書き込んだり、お散歩に行く前にどんなところを通るのか確かめたりと活用している姿がありました。

今年の研究はどのチームも経年で行っているせいか、とても深く掘り下げられていました。0歳児から5歳児までの発達過程を在園児の姿から知ること、子どもたちが今発達のどの段階にいるのかを捉えて、今後の保育に活かしていきたいと思います。

令和6年度も保護者の皆様のご理解とご協力で、喜びあふれる毎日を過ごすことができました。お支え下さいました保護者の皆様に感謝申し上げます。

園長 興津 夏子

◇ 3月の教育・保育目標 ◇

0歳児：一人ひとりの成長や発達を把握し、進級を視野に入れながらゆったりと過ごすようにする

指差しや身振り、喃語などで自分の思いを伝え、保育者と気持ちが通じ合うことの喜びを味わう

1歳児：季節の変化を感じながら、戸外遊びや散歩を楽しむ

あそびの中での約束を守ろうとしながら、友だちと関わりを持つとする

2歳児：進級することに期待感と喜びをもって生活をする

生活やあそびの中で自分の気持ちを言葉で表して、友だちの気持ちを聞こうとする

3歳児：自ら進んで自分の事が出来るようになり、進級への自信を持てるようになる

自分の気持ちややりたいことを言葉で保育者に伝えていくことで、お互いの気持ちを理解していく

4歳児：休息と活動のバランスが取れた生活をし、落ち着いて過ごしていく

年長児になるという意識を持ち、自分で考え見通しを持って過ごしていく

5歳児：就学に向けて期待を持ち、自信を持って活動を進めていけるよう見守っていく

友だちと共に過ごす喜びを感じ、お世話になった人への感謝の気持ちをもつ

一時保育：身の回りのことに意欲を持って取り組み、出来た喜びを保育者と共感し合って達成感を感じる

在園児と交流する中で、友だちと遊ぶ楽しさを味わう



お知らせ

- *3月より3歳児の体力向上プログラム・英語が始まります。
- *新年度のクラス発表は、3月21日(金)に掲示いたします。

進級に伴うクラスお引越し

3月21日(金)に進級先のクラスに移ります。24日(月)から新年度のクラスで生活します。
現年長児はホールで生活します。

